

【1】解答

問一 ①依然 ②語源 ③納得 ④循環
⑤殺到 ⑥異存 ⑦結構

問二 「やはり」には、思っていたとおりという意味もはいつているところ。

問三 「やっぱり」を頻繁に使う日本人はすべてにわたって予感に似たものを抱いていると考えるから。

問四 風土的 背景

日本は四季が均等に分かれたれ、歳月がきわめて規則的にめぐる風土で、何もかもがはっきりと見通せること

社会的な 背景

日本は同質社会であり、考え方まで同じでなければならぬように思い込ませるといふ圧力があること

問五 ところが

【2】解答

問一 a 駆 b 貧困 c 称 d 象徴 e 指摘

問二 アたか イくうそ ウかくいつてき
エしゃだん オみぞ

問三 Aオ Bエ Cイ

問四 i 抽象的 ii 一括・統合 iii 客観的

問五 人びとの嗜好が多様化すること

問六 「格差」の認識を、さらに深めること

問七 「絆」という言葉の裏には、本質

例的な多様性とは異質な、空疎な「多様性」が流行語のように使われた。この「多様性」は、人びとの嗜好の多様化に伴う「欲望の細分化」であり、ひとりひとりが分断されて、お互いに交通を失くなる分断の進化を招いた。「絆」という言葉の流行はこの分断に被いをかけ、「格差」という他者とのあいだに厳然と存在する差異を覆い隠す働きをしているという危惧のこと。

【一】解答

問一、アるふ イす ウふくせん エつの

問二、a 吟味 b 差異 c 鑑賞 d 絶賛 e 勤め

問三、自分が全体・・・業である。 グラウンド・・・のである。

問四、電子書籍では「物語の終わりの接近」の身体実感がなく、「読み終えた私」の小刻みな接近感を読者に
もたらしすることはできない、ということ。

問五、A、題名も著者名も知らないのに、引き寄せられるように「自分が今まさに読みたいと思っていたそ
の本」に出会うこと。

B、電子書籍は実需要対応の情報入力源であり、宿命や先駆的直感などを必要としないから。

【二】解答

問一、a 器官 b 媒介 c 営む d 占有 e 浄化

問二、花粉を運ぶ昆虫や種子の分散を助ける鳥や獣などのさまざまな動物

問三、自然淘汰によって進化する生物一般に共通する戦略と文化的、社会的なプロセスによって形作られる
人の戦略のこと。

問四、b

問五、主体と環境の関係において、互いの相互作用がダイナミックに変化し、常に進化するのが生態的現象
であり、淘汰によって個体群の遺伝的な特性が変化し、隔離と組みあわされて、個体群が独自の適応
進化を遂げ、種の分化が起きるといのが進化的現象である。

問六、寄生生物の・・・なっている